

# INTHEBITCH!

fate



「どお？すごいでしょ執務官さん  
このビーチ、島ごと俺と執務官さんで貸し切り。  
俺たち以外だーれも居なくて  
しかも魔法完全無力化地域！  
マジすごいでしょ？」

「たしかに、すごいけど  
誰も居ないのは無理矢理着せられたこの水着が  
他の人に見られないからいいとして  
魔法完全無力化地域って何のためにそんな…」

「何の為って、そりゃ管理局随一の  
ふざけたエロ女体持った極上女を  
白昼レイプするためだよフェイト」

「え…？」



「そろそろ！死ぬ気で逃げろフェイト！  
でない！とこの日の為に溜めに溜めた  
濃縮ザーメン容赦なくまんこにぶちまけで  
強姦妊娠まっしぐらだぞ！」

「いや！来ないで！誰か！誰かあ！」

極上の美女を逃げ場のない場所で  
強姦目的で追い回す愉悦！  
助けを求め無駄なメスの悲鳴は  
かえってオスの興奮と陰囊内の精子増産に  
拍車をかけるばかり！  
砂浜を駆けるに全く向いていないピンヒールのおかげで  
最早俺のレイプ開始は秒読み段階だ！



股間に反り返ったペニスと  
精子を大量に溜め込んだ陰囊を  
激しく振り乱し  
獣欲に支配されたオスが  
襲い掛かってくる  
叫んでも誰も助けに来ない  
魔法も使えない  
魔の腕力に屈するしかない今の私は  
ただの弱いオスだっただけ

「卑怯者！こんな女性をいたぶって性欲を満たそうだなんて最低の男！こんな事して…ただで…」

「お？必死にまんこ閉じて土壇場まで抗うか？いいねいいね、無理にでも捻じ込むぜ頭まで入れれば、あとは根元まで一気に飲み込ませてやるぜ」

「オラ！合体完了！」

「話を聞いてえツ！」



「いいかフエイト！  
お前を初めて見た時からな  
こうやって誰もいない場所で  
犯してやりてえって思ってたんだよ！」

「いやーやめて！  
こんな…こと！  
イヤあー！」

「念願叶って過去最高の勃起だぜ！  
この最高の鬼勃起チンポで強姦中出しキメて  
テメえを孕ませてやる！」

「なのは…たすけて…  
なのは！なのはあー！」

「オラ、イクぞイクぞ  
ザーメンイクぞ！  
レイプで無理矢理孕ませるぞ  
管理局の人間全員に  
惨めに中出し妊娠した  
ポテ腹晒し回せゴラ！」

「やめてください」

「おねがいます」

「なかに…ださないで…」

「ほかのことなら…  
なんでもしますから」

「おねがいます  
おねがいます」

「なめへためや」

「やめるわけねえだろがバカが！  
くちええ！惨めに俺のガキ孕んでろ  
マヌケ！」





「何度も何度もお願いされちまうもんだから  
想像の倍以上のザメーン出たぜ  
ザメーン飛び出す勢い良過ぎて  
鈴口がいてえくらいだ

強いザマだけ執務官様  
強姦の余韻に浸りながら  
女というプザマな性別に生まれた  
惨めさを思い知れ豚フエイト

「さいてい……  
さいてい……です……あなた……  
女の敵……です」

「いいねえまたまた犯し甲斐があるわ  
そんなじゃあ次は生意気を利く  
その口をレイプしてやんなきゃな」



身体を抱き起されるやいなや、  
さつきまで私を貫いていた  
互いの体液塗れのペニス  
私の唇に捻じ込まれる

「あ、レイブの最高のお前の口に強姦チンポぶち込んで  
オナホ扱いすんの最高だわ  
射精してやるぞ射精してやるぞ射精してやるぞ  
フエイト・テスタロツサ・ハラオウジの宇宙三美しい顔に  
ありったけのザーメジぶっかけてマーキングしてやる」

口の中で硬さと反り返りを増すレイブペニスの舌触り  
そして視界の隅で激しく揺れるキンタマの存在は  
想像を絶する量の射精が待ち受けている事実を  
否が応にも私に予感させていた

んー

んぐー

んー

むぐうー

「オライザー・ゲームン浴びろ  
フェイト・テストタロツサ・ハラオウン!  
お前の顔は今日俺のザトメンで  
染め上げられたって事を心に刻め!」

12

「……………」  
今日この時から  
なのはにもエリオにも向ける私の笑顔は  
この男にスベルマで穢された顔の笑顔になってしまった

猛烈な量のスベルマを浴びせかけられた後  
そのままベニス顔を擦り付けられる  
私その物を何度も射精に利用される  
顔面にベニスとキングタマを載せられ  
その重さからくる存在感と圧倒的な精臭の前に  
私の中のマゾ性が開眼し  
命令されてもいないのに  
舌でベニスに奉仕して服従を示してしまう

「よし、外のスベルママーキングも済んだし  
中のマーキングも再開するかな。  
そう簡単に解放されると思うなよフェイト」

「か……き……き……き……き……」  
加藤とは異様に期待が高まっていた――

男の強姦行為は日が没しても収まる事はなかった  
身体中吸い付かされ舐め尽くされ囮られつくされても  
まだ許してももらえそうにない  
肛門に突き刺さった彼の怒張は  
全く衰える事無く  
私の肛穴内で隆々と自己主張して  
私を捕え続けている

「記念すべきフェイト・テストロッサの  
初強姦被害日だ  
しっかりと映像記録しとかねえとな  
ビデオ見た全世界の男がお前を探し出して  
犯したくなるような挨拶キメろフェイトア

「はい……  
フェイト  
テストロッサ・ハラオワンは……  
レイプ願望真っ盛りの  
マゾメスブタ……です……  
お射精に自信のある方々は……  
フェイトを見かけ次第  
襲って……レイプをお楽しみください」  
「その程度じゃ不合格だ。罰として  
お前の親友を同じ目に合わせてやる」  
「そ……そんな……」

——続く——

● REC



## BOBCATERS

奥付  
誌名: IN THE BITCH! fate

発行日: 2025年12月  
サークル: BOBCATERS  
著者: 波紋愛  
MAIL: fw190d-9@iris.is.dream.jp  
印刷所  
サングループ様

お買い上げ  
ありがとうございます

注意

本書を無断転載  
アップロードをすると  
制作費がなくなって  
カラー本が作れなくなって  
続編製作の  
目途が立たなくなるので  
本書の内容の無断転載  
アップロードを禁じます。

無論、未成年の購入も  
禁止します。

My doujinshi publishing  
group, Bobcaters,  
has a stated policy of  
discontinuing publishing  
of a doujinshi series  
when a work is uploaded  
for public consumption  
without my permission.  
Please do not upload  
my publications if you  
wish to support my  
efforts to publish new  
and interesting  
doujinshis.

Thank you.

Reupload & AI learning  
無断転載  
AI学習  
禁止  
Prohibited